

茨城大学学報

第291号

平成22年6月～平成22年7月



オープンキャンパスの様子

INDEX

- ◆ 教養科目の推奨授業表彰
- ◆ 茨城大学役員と茨城大学同窓会連合会との懇談会(第4回)を開催
- ◆ 第1回定例記者発表行う
- ◆ 名誉教授称号授与式・懇談会を開催
- ◆ 徳永高等教育局長が農学部を視察
- ◆ 図書館が企画展「茨城初の女性教師 黒澤止幾子」を開催
- ◆ 茨城県教育委員会と茨城大学教育学部との連絡協議会
- ◆ オープンキャンパスに6,178名の参加

茨城大学総務部総務課広報係

TEL 029-228-8008

FAX 029-228-8019

◆ 教養科目の推奨授業表彰

本学では、教育上の多大な努力や優秀な教育技術等が認められる教養科目を、推奨授業として選考し、担当した教員を学長が表彰することとしています。平成21年度開講の全ての教養科目からの推薦を受けて、推薦書、受講者の成績、学生による授業評価、その他の根拠資料に基づいて審査した結果、2科目が推奨授業として選考されました。そして6月11日（金）に学長表彰式が行われ、表彰を受けた教員には表彰状と特別教育研究費が配分されました。

選考された推奨授業科目は、一つは「物理学実験基礎」で、吉田宏二准教授（大学教育センター）、榊守准教授（教育学部）、藤原高德教授（理学部）、栗原和美教授（工学部）、非常勤講師2名の計7名の教員が担当しています。この科目は、高校時代に物理実験を十分に経験してこなかった学生向けの基礎実験科目であり、実験項目を工夫して、受講生が物理学実験の新鮮さ、楽しさを感じられると同時に説明講義が難しくなりすぎないよう適切な配慮がされており、ほとんどの学生が初めての物理実験であるにも関わらず、学生アンケートでは高い満足度を獲得しました。

もう一つはジョイス・カニンガム教授（人文学部）の「総合英語」で、この科目は「総合英語」の中でレベル4にあたり、特に発表能力の育成を目指したクラスです。ジョイス教授は、豊富な経験をもとに学生に自信を持たせ、意欲を引き出す授業を展開し、学生の高い満足度を獲得しました。

学長表彰式のあと、教育担当副学長や大学教育センター副センター長を交えて懇談し、大学の講義について意見交換を行いました。ジョイス教授からは、良い授業の構築には、学生を respect することや学生の誤りに過度に注意を与えず、自身で気づくように導くことなどが必要との示唆に富んだ発言がありました。

これらの授業には自由参観日が設定され、広く公開される予定です。



表彰式後の記念写真

◆ 茨城大学役員と茨城大学同窓会連合会との懇談会（第4回）を開催

平成22年6月29日（火）11:30から、事務局会議室において、第4回茨城大学役員と茨城大学同窓会連合会との懇談会を開催しました。

この懇談会は、茨城大学同窓会連合会の事業の1つである「茨城大学との連携及び協力」の一環として、毎年1回開催しているものです。

大学役員等関係者12名及び同窓会連合会関係者10名の出席の下、白石理事・副学長から「直近の新聞報道等に基づく大学の活動状況等」についての近況報告があり、引き続き、各同窓会会長から各同窓会の近況報告や要望等の意見が提示されるなど、昼食をとりながら和やかに懇談が行われました。



懇談会終了後の記念撮影

日 時：平成22年6月29日（火）11:30～13:00

場 所：事務局第3会議室

出席者：

茨城大学（12名）		茨城大学同窓会連合会（10名）	
理事（副学長）	白石 昌武	副会長	野口 芳男（文理・人文学部同窓会会長）
理事（事業）	宇野 佑一	〃	久保田益充（理学部同窓会会長）
監 事	矢口 一美	〃	木曾 正明（多賀工業会会長）
人文学部長	佐々木寛司	〃	赤塚 伊巳（農学部同窓会会長）
工学部長	神永 文人	代表幹事	佐藤 瑛一（教育学部同窓会幹事長）
農学部評議員	阿久津克己	幹 事	金子 一夫（教育学部同窓会幹事長）
総務部長	鈴木 武	〃	佐久間 隆（理学部同窓会常任理事）
学術企画部長	貝田 辰雄	〃	小林 正典（多賀工業会幹事長）
総務課長	小野 智	〃	中村 豊（農学部同窓会幹事長）
総務課長補佐	向後 光典	会計監事	鈴木 忠和（理学部同窓会幹事）
総務係長	廣瀬 孝一		
総務係員	村松 将人		

懇談会進行内容

- 11:30 懇談会開会
- 11:35～ 自己紹介
- 11:40～ 昼食
- 12:00～ 懇談会
白石副学長から挨拶及び
大学運営に係る近況報告



挨拶する白石理事・副学長
(左より宇野理事、白石副学長、野口副会長、久保田副会長)

- 12:10 意見交換
各同窓会会長からの近況報告/要望/意見等
大学役員からの報告/意見等
同窓会連合会幹事会からの要望/意見等
- 12:55 閉会
- 13:00 写真撮影



懇談会の様子

◆ 第1回定例記者発表行う



熱弁を奮う池田学長

本学では、広報室設置に伴い、研究成果や学生の活動の更なる情報発信の活性化を図るため、今年度から年4回程度の定例記者会見を行うこととしました。

第1回目は6月30日（水）、事務局会議室にて開催されました。冒頭、池田幸雄学長より挨拶があり、その中で、池田学長は「茨城大学では地域貢献や研究等において様々な取り組みを行っており、広報室が設置されたことを機に、記者と大学が意思疎通を図り、密に情報交換をすることで相互理解を深めていきたい」と述べました。

続いて、小野寺淳広報室長が広報室設置の経緯と今後の広報活動の抱負を述べました。

発表では太田寛行農学部長が「低炭素社会に向けてのバイオ燃料計画について」、鈴木健仁助教より「第23回安藤博記念学術奨励賞の受賞報告」、人文学部の学生より地域貢献活動の一環として実施している「壁新聞『ひたち Oh! 宮』の発行について」の報告などが行われました。

出席した記者からは「今後の茨城大学のイメージや目標について」などの質問があり、池田学長は「学生の勉学意欲を引き出す教育をすること及び社会に有機的に貢献できる人材を育てる大学であるべき」と答えました。

広報室では、今後数ヶ月に一度定期的に記者発表を開催し、記事として取り上げやすい情報を提供できるように努めたいとしています。



挨拶をする小野寺広報室長

◆ 名誉教授称号授与式・懇談会を開催

名誉教授称号授与式が平成22年7月2日、事務局第二会議室で行われ、関係者出席のもと池田学長から称号記が授与されました。

名誉教授の称号は、多年本学に勤務し、教育上又は学術上特に功績のあった教授に授与されるもので、今回新たに15名が名誉教授となりました。

称号授与式に引き続き、昼食を取りながら名誉教授懇談会が開催され、池田学長のあいさつの後、新名誉教授から、思い出話、抱負、これからの茨城大学に期待すること等についてお話があり終始和やかな雰囲気の中で歓談が行われました。

新名誉教授（敬称略）

副学長	田切 美智雄
人文学部	帯刀 治
教育学部	大槻 功
	早川 唯弘
	牧野 泰彦
	早川 和子
	三浦 忠雄
大学院理工学研究科	坂田 文彦
理学部	高野 勝男
	西原 美一
	野田 二次男
工学部	鶴田 浩一
	本橋 嘉信
	安原 一哉
農学部	仲根 健

以上15名



授与式後の記念写真

◆ 徳永高等教育局長が農学部を視察

文部科学省の徳永高等教育局長が、7月5日（月）農学部（阿見キャンパス）を訪れ、学生実験や



実験履修学生と談笑する徳永高等教育局長（中央）

フィールドサイエンス教育研究センターなどの施設を視察し、山本恵一理事、太田寛行農学部長ら本学関係者と意見交換を行いました。（随行は国立大学法人支援課荒木秀治係長ほか文部科学省研修生3名）。

徳永局長は学生実験を視察し、実験履修学生と対談、採取したサンプルの中から細菌を分離する方法の説明や細菌を染色して識別する方法などの説明を受けました。

「農場を見るのを楽しみにしていた」という徳永局長は、暑さの中にも関わらずフィールドサイエンス教育研究センターの農場を訪れ、園芸療法の研究や雑草の中での作物の生育の研究を行っている学生らの研究報告に対して、積極的に質問していました。

また、農場で収穫された「アイコ」という品種のトマトとブルーベリーを試食、これらが地元の食材として、東京をはじめ近隣のレストラン等でも非常に人気が高いことについて、地産地消の推進の上でも今後の研究の向上を期待すると述べました。

「学生が汗を流している姿に好感をもつ」という徳永局長は、「学生が自ら選んだ研究テーマについて農場で実践できるという環境が非常に良い」と感想を残し、帰途につきました。



フィールドサイエンス教育研究センターで実習の視察を行う徳永高等教育局長（右）

◆ 図書館が企画展「茨城初の女性教師 黒澤止幾子」を開催

図書館では、黒澤止幾子没後 120 年を記念し、彼女の生涯を紹介する企画展「茨城初の女性教師 黒澤止幾子」を開催し、7 月 21 日から 8 月 3 日までの期間中 2,100 名以上の来場者がありました。

止幾子（1806～1890）は現在の茨城県城里町に生まれ、徳川斉昭の謹慎処分を不服として単身京へ赴き、歌を献上しようとして捕えられた勤皇の女傑として知られています。一方で、その満 83 年に及ぶ人生の多くは寺子屋の師匠として過ごし、明治 5 年の学制発布により満 66 歳で小学校の女性教師となりました。

企画展では、止幾子が使った文机や手本、日記や和歌、京都紀行や捕之文、長歌（写）など、図書館所蔵品を中心に約 40 点を展示しました。ガラス乾板の止幾子晩年の肖像写真を解析し、文机に置かれた短冊の内容も初めて紹介しました。

オープンキャンパス当日の 7 月 24 日（土）には記念講演会を開催し、90 名の参加がありました。池田幸雄学長が開会の挨拶とともに止幾子の実像や行動に関する疑問を投げかけ、続いて長谷川良子「黒澤止幾子の生涯」（茨城県立水戸高等養護学校教員）、齋木久美「寺子屋の師匠としての止幾子」（教育学部准教授）、大澤敏男「黒澤止幾子資料の保存について」（黒澤止幾子顕彰会会長）各氏の講演が行われ、活発な質疑が交わされました。

図書館では、止幾子関係の資料整理が完了次第広く公開し、今後の止幾子研究に活用していく予定です。



記念講演会で挨拶する池田学長



展示会場の様子

◆ 茨城県教育委員会と茨城大学教育学部との連絡協議会

教育学部では、去る7月23日（金）に「平成22年度茨城県教育委員会と茨城大学教育学部との連絡協議会」を、水戸キャンパスにおいて開催しました。

同協議会は、地域の教育及び教員養成に関わる諸問題並びに教員の資質向上等を図ることを目的として、平成12年度に設置されたものであります。

教育委員会側から宮本教育次長、関係各課長等11名が、大学側は田代教育学部長、山根副学部長、尾崎副学部長、橋浦副学部長、木村教育研究評議員、関係各種委員会委員長等26名が出席し、「茨城県教育委員会と茨城大学教育学部との今後の『教育施策プラン』について」というテーマで活発な懇談・意見交換等が行われました。また、今後も引き続き、相互の連携協力の一層の推進を図り、同連絡協議会を更に充実させることにしました。



連絡協議会の様子

◆ オープンキャンパスに6, 178名の参加

本学では、去る7月24日（土）に第25回オープンキャンパスを開催しました。当日は暑い中、早朝から高校生や保護者が続々と来場し、6, 178名の参加がありました。

正門前では、池田幸雄学長はじめ山本恵一事務局長、伊藤吾朗入学センター長ら教職員と学生が、笑顔で大勢の参加者を出迎えました。参加者は、水戸キャンパスと茨城県武道館の二会場を往復し、学部紹介などの説明を熱心に聞いたり、公開授業を聴講していました。

会場内の各種相談や情報提供コーナー、過去問題閲覧・配布コーナーはどれも盛況で、特に在学生による相談コーナーやキャンパスツアー、サークルパフォーマンスなど、学生の積極的な参加によるものが好評で、オープンキャンパスを終日盛り上げました。



参加者を迎える池田学長（左）、山本事務局長（中央）、伊藤入学センター長（右）